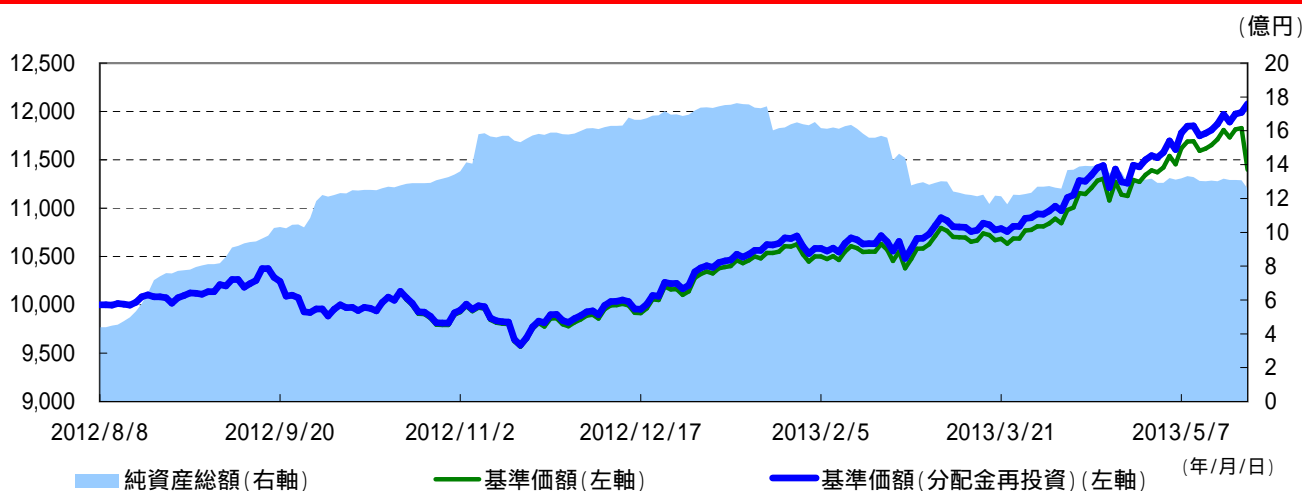


三菱UFJ 米国リートファンドA <為替ヘッジあり> (毎月決算型)【愛称:アメリカンストリート】
第10期分配金のお知らせ

追加型投信 / 海外 / 不動産投信

平素は「三菱UFJ 米国リートファンドA <為替ヘッジあり> (毎月決算型)【愛称:アメリカンストリート】」をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。
さて、この度当ファンドは、2013年5月22日に第10期の決算を迎え、当期の分配金を、20円の分配金に加え、500円を上乗せして520円(1万口当たり、税引前)といたしましたことをご報告申し上げます。
基準価額(分配金再投資)でみる設定来の騰落率は、設定来20.8%の上昇と良好なパフォーマンスとなりました。(2013年5月22日現在)
分配金を上乗せしてお支払いする背景や運用状況につきましては、2ページ以降のQ & Aにてまとめておりますので、ご参照のほどお願い申し上げます。

運用状況(基準価額の推移) (期間:2012年8月8日 ~ 2013年5月22日)



- ・基準価額、基準価額(分配金再投資)は設定日を10,000として指数化しています。
- ・基準価額および基準価額(分配金再投資)は、信託報酬(純資産総額に対し、年率1.6065%(税込)(上限値))控除後の値です。(上限値は、投資対象とする投資信託証券における信託報酬率を含めた実質的な信託報酬率を算出したものです。)
- ・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したもとして計算しています。

分配金実績(1万口当たり、税引前) (期間:第1期 ~ 第10期)

第1期 (2012年8月)	第2期 (2012年9月)	第3期 (2012年10月)	第4期 (2012年11月)	第5期 (2012年12月)
0円	0円	20円	20円	20円
第6期 (2013年1月)	第7期 (2013年2月)	第8期 (2013年3月)	第9期 (2013年4月)	第10期 (2013年5月)
20円	20円	20円	20円	520円

第10期の分配金額
520円

* 運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

- ・上記グラフ・数値は過去の実績・状況であり、将来の運用状況・成果等を示唆・保証するものではありません。
- ・また、税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- ・基準価額、基準価額(分配金再投資)および分配金は、1万口当たりです。

三菱UFJ 米国リートファンドA < 為替ヘッジあり > (毎月決算型)【愛称: アメリカンストリート】

Q1:なぜ今回、分配金が上乗せして支払われるのですか？

A:基準価額の上昇分を、受益者の皆様に還元するためです。

当ファンドの設定日以降の米国リート指数(米ドルベース)の推移をみると、2012年12月頃までは米国の「財政の崖」問題に対する不透明感等により方向感の出にくい展開となりました。しかし、2013年1月に入ると米国の経済指標の改善や、上記問題への楽観的な見方が一部で広がったこと等から堅調に推移し、2012年8月8日(設定日)から2013年5月22日までで20.4%の上昇となっています。その結果、基準価額(分配金再投資)は同期間で20.8%の上昇となりました。

上記の要因、基準価額水準、市況動向等を総合的に勘案して第10期は20円の分配金に加え、500円を上乗せして520円(1万口当たり、税引前)の分配金をお支払いすることといたしました。

米国リート指数の推移(米ドルベース)

(期間:2012年8月8日~2013年5月22日)



(出所)ブルームバーグ社のデータより三菱UFJ投信作成

- ・ 上記は指数の値を使用しています。指数については[当資料で使用している指数について]をご覧ください。
 なお、上記はファンドのベンチマークではなく、ファンドの運用実績とは異なります。
- ・ 上記グラフは過去の実績・状況であり、将来の運用状況・成果等を示唆・保証するものではありません。
 また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- ・ 計測期間が異なる場合、結果も異なることにご注意ください。
- ・ 本見通ししないし分析は作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を示唆・保証するものではありません。

【当資料で使用している指数について】

米国リート(= FTSE NAREIT ALL Equity REITs(配当込み))

FTSE NAREIT ALL Equity REITsとは、FTSE International Limited(以下「FTSE」)が算出・公表する米国の代表的なREIT株価指数で、米国の上場不動産投資信託証券の値動きを示す代表的な指数の1つです。

FTSE NAREIT ALL Equity REITs インデックスの全ての権利はFTSEに帰属します。「FTSE®」はLondon Stock Exchange Plcが所有する商標であり、ライセンス契約に基づき、FTSEが使用します。FTSEは、FTSE NAREIT ALL Equity REITsおよびその基となるデータにおけるあらゆる誤謬または欠落に関して一切の責任を負いません。

Q2:今後も、分配金が上乗せして支払われるのですか？

A:将来の分配金については、あらかじめお約束できるものではありません。

分配金額は、ファンドの分配方針に基づき、委託会社が決定しますが、将来の分配金額につきましては、あらかじめ一定の額の分配をお約束できるものではありません。今後の運用状況や市況動向等によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合もあります。

三菱UFJ 米国リートファンドA < 為替ヘッジあり > (毎月決算型) [愛称: アメリカンストリート]

Q3: 運用状況について教えてください。

A: 市況動向を分析しつつ、大型優良銘柄を中心とする方針を維持しました。

【ポートフォリオの運用状況】

当ファンドは、設定来、個別銘柄の綿密な調査をベースとして、大型優良銘柄を中心としたポートフォリオ運営を基本方針としてきました。これは、米国の景気回復が緩やかなものとなっている中、より空室率の低い優良物件を多く所有する銘柄の方が、安定した収益が見込まれると判断したことに加え、超低金利環境やクレジット環境の改善傾向が続く中、より信用力の高い優良銘柄による新規物件購入のための資金調達が活発化すると考えたためです。

また、セクターに関しては、当初のヘルスケア等のディフェンシブ性の強いポートフォリオから、リスクオン環境への移行を踏まえ、徐々に景気感受性の高い銘柄への乗り換えを進めてきています。

現在の市場では、相対的に規模が小さく、信用力の低い銘柄が先行する上昇が続いているものの、その分大型優良銘柄の割安度が高まりつつあり、近い将来これらの銘柄が見直される局面がくると考えています。そのため当ファンドでは、短期的な市場の動きに捉われることなく、大型優良銘柄中心のポートフォリオ戦略を維持しました。

Q4: 今後の市況見通しと運用方針を教えてください。

A: 米国の低金利、米国リートの良好な事業環境等を背景に収益の獲得が期待できると考えます。

【市況見通し】

欧州問題への対処の前進や、中国における住宅価格の上昇、日本の金融緩和による株式市場の後押し等を背景に、米国リート市場は堅調に推移しています。

米国リート市場は、保有資産に対する割安感は薄れつつあるものの、物件の供給が低水準な一方、需要の伸びが期待されることから、米国リートの事業ファンダメンタルズは健全な状況にあると見ています。

また、足下は米国の金利水準から低コストでの資金調達が可能であり、保有する不動産の価格下落圧力もほとんど見られない状況です。このような環境下、保有資産のキャッシュフロー増大による「内部成長」と、借入を活用して新規に資産を購入する「外部成長」の双方により、米国リートは引き続き収益の獲得が期待できると考えます。

【運用方針】

今後も、JPモルガン・アセット・マネジメントおよび同社グループ独自の企業分析・予想に基づいた、銘柄の割安度や配当利回りの水準・継続性等に着目した銘柄選択により、市場平均を上回る配当利回りや信託財産の中長期的な成長をめざした運用を行っていく方針です。

・本見通しないし分析は作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を示唆・保証するものではありません。

今後とも引き続き、「三菱UFJ 米国リートファンドA < 為替ヘッジあり > (毎月決算型) [愛称: アメリカンストリート]」をご愛顧いただきますようよろしくお願い申し上げます。

収益分配金に関する留意事項

分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

投資信託で分配金が支払われるイメージ

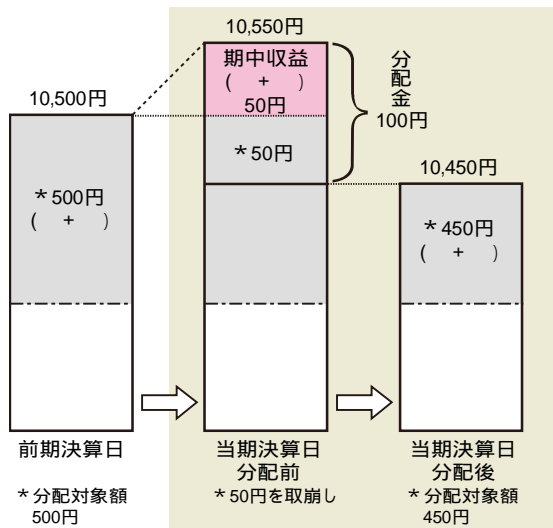


分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

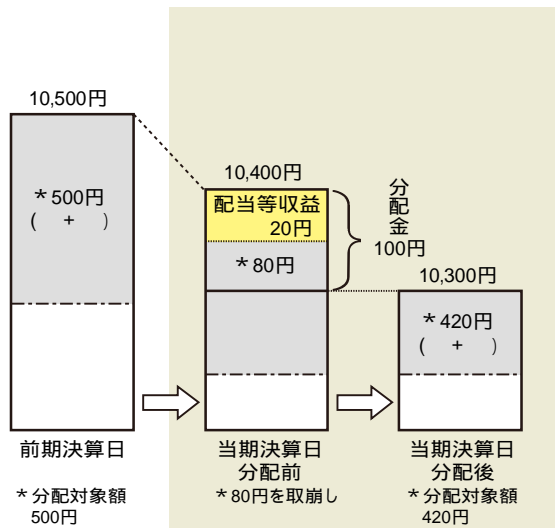
分配対象額は、経費控除後の配当等収益および経費控除後の評価益を含む売買益ならびに 分配準備積立金および 収益調整金です。
分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

(計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合)

(前期決算日から基準価額が上昇した場合)



(前期決算日から基準価額が下落した場合)



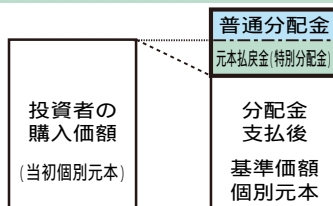
上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

分配準備積立金: 当期の経費控除後の配当等収益および経費控除後の評価益を含む売買益のうち、当期分配金として支払わなかった残りの金額をいいます。信託財産に留保され、次期以降の分配金の支払いに充当できる分配対象額となります。

収益調整金: 追加型投資信託で追加設定が行われることによって、既存の受益者への収益分配可能額が薄まらないようにするために設けられた勘定です。

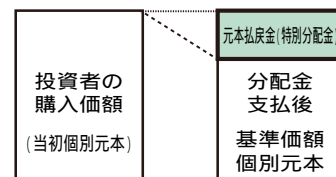
投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

(分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合)



元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。

(分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合)



普通分配金: 個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金(特別分配金): 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

(注) 普通分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目論見書)をご参照ください。

三菱UFJ 米国リートファンドA <為替ヘッジあり> (毎月決算型) 【愛称:アメリカンストリート】
ファンドの目的・特色
ファンドの目的

米国の不動産投資信託証券を実質的な主要投資対象とし、値上がり益の獲得および配当等収益の確保をめざします。

ファンドの特色

- ・主として証券投資信託である「JPM・USリート・ファンドF(為替ヘッジあり)(適格機関投資家専用)」への投資を通じて、米国の不動産投資信託証券(リート)に実質的な投資を行います。また、証券投資信託である「マネー・マーケット・マザーファンド」(わが国の短期公社債等に投資)への投資も行います。(ファンド・オブ・ファンズ方式)
- ・投資対象とする証券投資信託は、JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社が運用を行います。
- ・JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社は投資対象ファンドが投資するマザーファンドの運用の指図に関する権限を、米国のJ.P.モルガン・インベストメント・マネージメント・インクに委託します。
- ・実質的な組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかります。
- ・為替対応方針の異なる「為替ヘッジあり」と「為替ヘッジなし」の2つがあります。
- ・各ファンド間でスイッチングが可能です。なお、スイッチングの際の購入時手数料は、販売会社が定めるものとします。また、換金するファンドに対して税金がかかります。
- ・販売会社によっては、スイッチングの取扱いを行わない場合があります。詳しくは、販売会社にご確認ください。

<主な投資制限>

- ・投資信託証券への投資割合に制限を設けません。
- ・外貨建資産への直接投資は行いません。

<分配方針>

- ・毎月22日(休業日の場合は翌営業日)の決算時に収益分配を行います。
- ・原則として、基準価額水準、市況動向等を勘案して分配を行います。ただし、分配対象収益が少額の場合は、分配を行わないことがあります。また、分配金額は運用実績に応じて変動します。将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

投資リスク
基準価額の変動要因

ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けますが、これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。
 したがって、投資者のみなさまの投資元金が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。
投資信託は預貯金と異なります。

ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。

市場リスク
(価格変動リスク)

一般に、不動産投資信託証券の価格は保有不動産等の価値やそこから得られる収益の増減等により変動するため、ファンドはその影響を受け組入不動産投資信託証券の価格の下落は基準価額の下落要因となります。

(為替変動リスク)

組入外貨建資産については、為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図りますが、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。為替ヘッジを行う場合で円金利がヘッジ対象通貨建の金利より低いときには、これらの金利差相当分がヘッジコストとなります。

信用リスク

組入有価証券等の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想された場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等には、当該組入有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払い・償還金の支払いが滞ることがあります。

流動性リスク

有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない場合または取引が不可能となる場合、市場実勢から期待される価格より不利な価格での取引となる可能性があります。また、不動産投資信託証券は、株式と比べ市場規模が小さく、一般的に取引量も少ないため、流動性リスクも高い傾向にあります。

(ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。)

委託会社(ファンドの運用の指図等) 三菱UFJ投信株式会社
 受託会社(ファンドの財産の保管・管理等) 三菱UFJ信託銀行株式会社
 販売会社(購入・換金の取扱い等) 後記の各照会先でご確認いただけます。

設定・運用 ...三菱UFJ投信株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
 加入協会 一般社団法人投資信託協会
 一般社団法人日本投資顧問業協会

三菱UFJ 米国リートファンドA <為替ヘッジあり> (毎月決算型) 【愛称:アメリカンストリート】
投資リスク
その他の留意点

- ・ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。
- ・投資判断によっては特定の銘柄に集中投資することがあります。そのため、当該銘柄の影響を大きく受ける場合があります。

リスクの管理体制

ファンドのコンセプトに沿ったリスクの範囲内で運用を行うとともに運用部門から独立した管理担当部署によりリスク運営状況のモニタリング等のリスク管理を行っています。

手続・手数料等
お申込みメモ

購入単位	販売会社が定める単位 販売会社にご確認ください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額 ファンドの基準価額は1万口当たりで表示されます。基準価額は委託会社の照会先でご確認ください。
購入代金	販売会社の定める期日までに販売会社指定の方法でお支払いください。
換金単位	販売会社が定める単位 販売会社にご確認ください。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して6営業日目から販売会社においてお支払いします。
申込締切時間	原則として、午後3時までに販売会社が受け付けた購入・換金のお申込みを当日のお申込み分とします。
申込不可日	ニューヨーク証券取引所の休業日およびその前営業日は、購入・換金のお申込みができません。2013年の該当日は1月18日、1月21日、2月15日、2月18日、3月28日、3月29日、5月24日、5月27日、7月3日、7月4日、8月30日、9月2日、11月27日、11月28日、12月24日、12月25日です。なお、休業日は変更される場合があります。
換金制限	ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口の換金のお申込みに制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止および取消し	金融商品取引所等における取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止することおよびすでに受け付けた購入・換金のお申込みの受付を取り消すことがあります。
信託期間	2022年6月22日まで(2012年8月8日設定)
繰上償還	受益権の口数が10億口を下回るようになった場合、または各ファンドの受益権の口数を合計した口数が30億口を下回るようになった場合等には、信託期間を繰り上げて償還となる場合があります。 なお、投資対象とする証券投資信託が償還する場合には繰上償還となります。
決算日	毎月22日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	毎月の決算時に分配を行います。 販売会社との契約によっては、収益分配金の再投資が可能です。
課税関係	課税上、株式投資信託として取り扱われます。

三菱UFJ 米国リートファンドA <為替ヘッジあり> (毎月決算型) 【愛称:アメリカンストリート】
手続・手数料等

ファンドの費用・税金

・ファンドの費用

【お客さまには以下の費用をご負担いただきます。】

お客さまが直接的に負担する費用

購入時

購入時手数料	購入価額× 3.15% (税抜 3%) (上限) 販売会社にご確認ください。
--------	--

換金時

信託財産留保額	ありません。
---------	--------

お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

保有期間中

運用管理費用 (信託報酬)	当該ファンド:純資産総額×年1.029% (税抜 年0.98%) 投資対象とする投資信託証券:年0.5775% (税込) 実質的な負担: 年1.6065% (税込) 投資対象とする投資信託証券における料率を含めた実質的な料率 (上限値) を算出したものです。
------------------	---

その他の費用・ 手数料	売買委託手数料等、監査費用等を信託財産からご負担いただきます。 これらの費用は運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。
----------------	--

運用管理費用(信託報酬)、監査費用は毎日計上され、毎決算時または償還時に信託財産から支払われます。その他の費用・手数料(監査費用を除きます。)は、その都度信託財産から支払われます。

購入時手数料、運用管理費用(信託報酬)およびその他の費用・手数料(国内において発生するものに限り。)には消費税等相当額が含まれます。

お客さまにご負担いただく手数料等の合計額は、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

・購入時手数料に関する留意事項

お客さまにご負担いただく購入時手数料の具体的な金額例は以下の通りです。下記はあくまでも例示であり、手数料率は販売会社ごとに異なります。また、販売会社によっては金額指定、口数指定どちらかのみのお取扱いになる場合があります。詳しくは、販売会社にご確認ください。

【金額を指定して購入する場合】

購入金額に購入時手数料を加えた額が指定金額となるよう購入口数を計算します。例えば、100万円の金額指定でご購入いただく場合、お支払いいただく100万円の中から購入時手数料(税込)をご負担いただきますので、100万円全額が当該ファンドの購入金額となるものではありません。

【口数を指定して購入する場合】

~ 手数料率3.15%(税込)の例 ~

例えば、基準価額10,000円(1万口当たり)の時に100万口ご購入いただく場合、購入時手数料 = (10,000円 ÷ 1万口) × 100万口 × 3.15% = 31,500円となり、合計1,031,500円をお支払いいただくことになります。

・税金

個人受益者については、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の価額から取得費を控除した利益に対して課税されます。

なお、法人の課税は異なります。また、税法が改正された場合等には、変更となる場合があります。

詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

当資料のご利用にあたっての注意事項等

投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、貯金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。/ 販売会社が登録金融機関の場合、投資者保護基金に加入していません。/ 投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。/ 投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡りする最新の投資信託説明書(交付目論見書)等の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

当資料は、当ファンドの運用状況をお知らせするために三菱UFJ投信が作成した資料です。/ 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。/ 当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。/ 当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

市況動向および資金動向等により、ファンドの基本方針通りの運用が行えない場合があります。

(ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。)

お客さま専用
フリーダイヤル  **0120-151034**
受付時間 / 9:00 ~ 17:00 (土・日・祝日・12月31日 ~ 1月3日を除く)

< オフィシャルサイト > <http://www.am.mufig.jp/>
< モバイルサイト > <http://k.m-muam.jp/a/1/3>
基準価額・分配金をメール配信 (*メール配信対象外ファンドもあります。)



